

提案書評価基準

1 基本的な考え方

この委託業務の受託者を特定するため、プロポーザルにより提案内容の評価を行い、提案者の順位付けを行う。

提案内容の評価は、次のとおり、技術力と提案価格を総合的に判定する。

(1) 技術力の評価

企画提案書等及びプレゼンテーションに基づき提案内容の評価し、「技術点」を与える。「技術点」は、110点満点とする。

(2) 価格提案書の評価

提案価格を後に示す計算式に基づき計算し、「価格点」を与える。「価格点」は、20点満点とする。

(3) 最優秀提案者の選定方法

「技術点」及び「価格点」を合計し、合計点数が最も高い者を最優秀提案者（契約候補者）とする。

(4) 有効数字

「価格点」の算出に当たっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

(5) 合計点数が最も高い者が2人以上あるとき（同点）の対応

ア 提案者それぞれの「技術点」、「価格点」が異なる場合

「技術点」が高い者を最優秀提案者とする。

イ アで決定しない場合は、選定委員会で協議の上、最優秀提案者を特定する。

2 技術点の評価【110点】

(1) 評価項目及び配点

「4 プロポーザル評価基準」に基づき採点を行う。

(2) 評価方法

ア 項目評価点の考え方

提案書の記述内容及びヒアリングを踏まえ、5段階評価とする。5段階評価の目安は、次のとおりとする。

【評価の目安】

高評価	やや高評価	普通	やや低評価	低評価
5	4	3	2	1

※「4 プロポーザル評価基準」の評価の配点が、5点満点の場合は、上記点数に係数1を掛ける、10点満点の場合は、上記点数に係数2を掛ける、2

0点満点の場合は、上記点数に係数4を掛ける、30点満点の場合は、上記点数に係数6を掛ける。

3 価格点【20点】

「価格提案書」に基づき、評価を行う。また、以下の式により価格点の計算を行う。

価格点＝（20点×最も安い提案価格÷提示提案価格）

※価格点は、20点を上限とする。

※提示提案価格が予算額を超過している場合は、欠格とする。

4 プロポーザル評価基準

評価項目		評価の着目点		評価の配点	
		評価内容	判断基準		
技術点	ロー・実施方針・工程管理・業務フロー	業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	10	20
		実施手順	業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	5	
			業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	5	
	企画提案の内容の評価	業務を執行するうえでのチーム体制	実施方針を実現するためのチーム体制となっているか。着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されている場合に優位に評価する。	20	90
		効率的な維持管理体制の構築について	施設更新の優先順位付けや費用削減のポイントや考え方について優位な提案となっているか。着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されている場合に優位に評価する。	30	
		適切な料金体系について	使用料の改定を行ううえでのポイントや考え方について優位な提案となっているか。着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されている場合に優位に評価する。	30	
		住民への周知について	住民に分かりやすく伝える広報手法や住民が理解を深められるために行う工夫等について優位な提案となっているか。着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されている場合に優位に評価する。	10	

価格点	見積価格 (2年度分の合計)	(20点×最も安い見積金額／提示見積価格) ※20点を上限とする	20
合 計			130